



かがみ



## 「子育て」に不安を感じていませんか

子育てをされていて、「子どもに対してイライラする」「思わず強く叱ってしまう」「自分だけだめな親だと思ふことがある」「子どもが学校に行きたがらない」等で悩んでいませんか。多くの親が、子育てに対して不安や悩みをもっています。日々、変わりゆく子どもの言動に驚かされたり不安になったりして、自分の子育てに疑問をもっています。そんなとき、問題を一人で抱え込み解決しようとしてしまうことがあります。しかし思うように子どもが変化せずイライラする。そして、そのイライラが子どもにうつり、子どもが無視したり反抗的な態度をとるようになり、ますます自分との距離が離れ悪循環になることがあります。そのことが、親に大きなストレスとなつてのしかかってくる。

そうなる前に、肉親や友達、学校の先生に相談してみてください。一人で悩んだりあせったりせずに周囲の方の協力をいただいて、悩みを解消するきっかけをつかんでください。そして、大切なことは子どもとじっくり向き合う覚悟を固め、子どもと一緒に小さなステップを踏み出すこと。一気に解決しようと思わず、あせらずじっくり取り組むことです。

まず、悩んだら相談してみましよう。

### 【八戸市内の主な少年相談機関】

(八戸市・八戸市教育委員会で設置しているもの)  
悩みのある方、お電話、お待ちしております。  
一緒に考えていきましょう。

- ・ 八戸市少年相談センター 43-2142  
(平日 10時～17時)
- ・ すこやかテレホン相談 27-0690  
(平日 18時～21時、休日 9時～17時)
- ・ 八戸市総合教育センター 46-0653  
(平日 9時～17時15分)
- ・ 家庭(児童)婦人等相談室 43-2111  
〈内 274・378〉 (平日 9時～16時)

## ルールを守って「万引きしま宣言」

「万引き防止」は少年犯罪抑止の最重要課題

八戸市教育委員会 教育長 松山隆豊

### ☆ 極めて憂慮される状況

去る5月21日、八戸警察署長名で管内の各教育長及び各小・中学校長宛に、「児童・生徒への『万引き防止』規範意識の啓発に対する御指導について(依頼)」の文書が届きました。

それによると、平成21年中の八戸署管内の刑法犯少年は211人(前年比42人減)であったが、万引きは141人(前年比6人減)とほぼ前年並であった。しかし、万引きの占める割合は約67%と極めて高く、「万引き防止」は少年犯罪抑止の最重要課題となっている。その中でも、14歳以上は96人(前年比20人減)であったが、



14歳未満は45人（前年比14人増）と大幅増加し、特に、小学生が23人（前年比16人増）と万引きの「低年齢化」が顕著な状況である。この傾向は、本年に入っても続いており、極めて憂慮される状況にある…とのことです。

### ☆『万引きしま宣言』の効果

このような状況の背景には、児童・生徒を取巻く社会環境、規範意識の低下、社会全体の犯罪抑止力の低下などがありますが、警察をはじめ地域の諸団体や教育委員会・学校などが、パトロールや声かけなど万引き防止をはじめ少年非行防止のための様々な取り組みを行っています。

その中でも、JUMPチームによる各学校での「万引きしま宣言」など、子どもたちの主体的な活動が効果を上げており大変うれしく思っています。子どもたちの心に訴えかけ、自らの行動を律する力を高めるための取り組みが効果をあげていることを、あらためて確認できたからです。

#### 『万引きしま宣言』

- 一 自分の将来に汚点を残す「万引き」は、絶対しません！
- 一 家族を悲しませる 「万引き」は、絶対しません！
- 一 友人を失う 「万引き」は、絶対しません！
- 一 被害者に損害を与える 「万引き」は、絶対しません！
- 一 学校の名誉を傷つける 「万引き」は、絶対しません！

### ☆ ルールを守ること = 規範意識の基礎・基本！

さて、今の子どもたちは規範意識が低いとよく耳にします。規範意識とは何でしょう？ 私は、規範意識とは「ルールを守る意識」にほかならないと思っています。

私たちの自由や権利は憲法で保障されています。しかし、常に公共の福祉のためにこれを行行使する責任を負っています。つまり、内心や行動は自由を原則としつつも、「行動」に際してはルールに従うということです。別な言い方をすると、「行動」には「ルールに則った自由な行動」と「ルール違反の行動」の二つのみがあるということになります。

ルールを守るとは社会生活の基本であり、幼少のころからしっかり教えられなければなりません。しかし、「ルール違反の行動」であり犯罪である万引きが、低年齢化しているということは大変な問題です。人生の最初に受ける「家庭教育」をはじめ学校教育・社会教育などあらゆる場で、私たちすべての大人が“モデル”となって、最も基本的な規範意識である「ルールを守る」ことを子たちにしっかりと教えていかなければならないと強く思います。

### ☆ 「人と人とのつながり」の中で

「ルールを守る」ことは、幼児期からしっかり体に教え込む必要がありますが、「憂慮すべき状況」はそれが十分でないことを示しています。もう手遅れでしょうか。いや、これからでも発達段階にあわせた教え直し、学び直しをやればいいのです。そして、様々な活動を通して最も基本的な規範意識である「ルールを守る」を内面化し、より高い規範意識である「マナー」や「モラル」まで高めればいいのです。その際大切なことは、「万引きしま宣言」が学校あげて子ども同士の心のつながりの中で効果を上げたように、「人と人とのつながり」の中でということです。

あと数日で夏休みです。家族の帰省やお盆など家族同士のつながり、祭りなどでの地域の人とのつながりなどは、「人と人とのつながり」を身近に感じ、多くのものを学ぶ絶好のチャンスです。

「地域の子どもは地域で育てる」ために、このチャンスを生かさない手はありません。